

令和5年度

第6回北海道スポーツ少年団
バドミントン交流大会

新型コロナウイルス感染症対策

「競技・運営上の注意」

北海道バドミントン協会
北海道小学生バドミントン連盟

1. 基本的な考え方

公益財団法人日本バドミントン協会及び北海道バドミントン協会が作成した新型コロナウイルス感染症防止対策ガイドラインに準じて、参加者及び関係者の健康と安全の確保を最優先して実施する。

2. 会場への入場制限および無観客試合の実施について

- ①本大会は、新型コロナウイルス感染症防止の徹底を図ることを前提に、有観客試合での大会実施とする。会場内への出入りについては、**入場者の制限を行わない**。観客席では密にならないように座る。
- ②以前まで提出を義務づけた「健康チェックシート」の提出は必要ありません。
- ③発熱者（37.5度以上）の入場を禁止する。なお、体調がよくない場合（発熱・咳・倦怠感などの症状がある）や同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合は、自主的に入場を見合わせる。
- ④試合当日、予定していた試合等が終了した場合でも、残って試合を観戦することを認めます。

3. 会場内で使用する物品について

- ①出入口付近や通路には手指消毒液を設置します。

4. 開場時間・受付について

- ①体育館開場時間は、午前8時00分の予定です。
- ②会場の入り口に受付を用意します。「プログラム」「**領収書**」を同封した封筒を受け取って下さい。

5. 大会会場内に関する確認事項

- ①換気の悪い密閉空間にしないよう、定期的に外気を取り入れる換気を行う。
- ②密を避けるため、組合せやタイムテーブルの掲示はしない。
- ③外履きは袋に入れ自分で管理し、下駄箱は使用しない。
- ④更衣室の使用範囲を更衣のみとし、シャワー・ロッカーの使用を禁止する。
- ⑤食事場所は、飛沫が発生し感染リスクが高いことから、密にならないよう感染拡大防止を徹底する。

6. 大会本部

- ①大会本部の設置は、密を避けるように配置し、適切な運営スペースを確保する。

7. 競技会場（競技スペース）及び競技関係用具類について

- ①遮光性に配慮の上、可能な限り窓や扉を開放して行う。
- ②コートサイドにはカゴやドリンクケースは設置しないので、バッグ等を持参し、コートサイドもしくは所定の場所に置き、ドリンクも各自のバッグに保管する。また、勝者サイン用の黒色の鉛筆またはボールペンを持参すること。
- ③**コーチングシートは1席用意します。使用した椅子は、チェンジェンズ毎に持ち歩く必要はない。**
- ④インターバルの時間は設定するが、ボードは使用しない。

8. 競技関係者及び競技中の確認事項

- ①選手は、試合時以外は必要に応じてマスクを着用する。
- ②主審、線審、得点係等は、状況に応じてマスクを着用する。水分補給を促し、熱中症対策を講じる。
- ③得点係は、手指消毒を行う。ビニール手袋は用意しません。
- ④選手同士や審判員との握手は行わない。
- ⑤**シャトルの交換は、主審に確認の上、選手が主審からシャトルを受け取り、使用済みシャトルは選手が回収用カゴに入れる。**
- ⑥意識的に試合中の声出しは、極力控える。
- ⑦試合前の練習は、行わない。
- ⑧ウェアの背面文字列表示については、明瞭な文字を使用し、文字の色は上衣面の文字列表示部分の色と明確に区別できるウェアを着用すること。（ウェアの更衣をお願いする場合あり）
- ⑨**敗者チームのコーチ・保護者等が主審とし、参加選手は両選手が線審（得点係）とします。**

9. 開閉会式・公式練習について

- ①**開会式及び閉会式は実施しない。競技前に放送で諸注意を行う。**
- ②公式練習は、競技前に時間を決めて行う。

10. その他

- ①会話をする場合は、マスクの着用を励行する。
- ②適宜手洗いやうがい等により予防に努める。
- ③ゴミについては、感染症拡大防止の観点から各自持ち帰り自宅で処分する。

◎新型コロナウイルス感染については5類移行後も感染対策が示されておりますので、引き続き遵守しながら大会運営を行い、無事に大会を終えたいと考えています。

皆様方の多大なるご理解とご協力をお願い申し上げます。